

竹建第 1020002 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

大分県竹田市長 牧 剛尔



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案につきましては、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大分県竹田市

- ・ 人間社会を構成する上で道路は必要不可欠の最低限度の社会基盤であります。そしてその役割は里道から国道までそれぞれ異なります。
- ・ その役割、すなわち格によって道路は改良保全されるべきものと考えます。
- ・ 従来の画一的な改良では、山間部にまで幅広の歩道などが設置されてきた。
- ・ 最近この見直しが進んで地域の実情に合わせた改良が行われているのは好ましいことと思います。
- ・ 単なる費用対効果からその必要性を議論することは大きな間違いであります。
- ・ 格差問題の中で劣悪な条件の中で生活する中山間地域においてはすでに公共交通機関は無く移動手段は自動車のみのところが多い。
- ・ こうした地域には十分な医療機関はありません。
- ・ ましてや重篤な救急患者については1時間以上もかけて県中心部までいかねばならないのが現状です。
- ・ そしてこうした地域こそが地震や風水害時に陸の孤島と化してしまいます。
- ・ 一方国は有事の際の国民保護法を制定しています。
- ・ 外国から不法に侵略されたときは安全迅速に国民を避難させるとしています。
- ・ 安全な避難場所とはまさに奥深い山間地ではないでしょうか。
- ・ その避難すべき地域の道路整備が喫緊の課題であります。
- ・ 又、避難してくる人の受け入れ態勢も重要であります。
- ・ 過疎高齢化が進み、いわゆる限界集落にその能力はありません。今から国の施策としと取り組まねばならないのではないのでしょうか。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

大分県竹田市

○現状

- ・本市は久住山系、祖母傾山系、阿蘇外輪山に源を発し掌状に開析した河川を有するまちです。
- ・周辺地域に生活する人々はこの河川沿いに住居をなしています。
- ・道路は当然ながら河川沿いの急峻な地形の中で設けられています。
- ・昭和57年、平成2年の大水害ではこうした道路がいたるところで寸断され孤島化した。
- ・主要道路はある程度改良が進んできたがいわゆる市民の生活道路はいまだ手付かずの路線が多い。
- ・救命道路、産業振興道路としての自動車専用道路が1メートルも無い

○課題

- ・地形的な制約からメートルあたりの建設コストが高い。
- ・県境を越えた交流により地域振興を図りたいがこれらに係る道路改良が遅れている。
- ・国民保護法の観点からも急がれると考える。
- ・中九州横断自動車道の整備が急務。

今後の道路行政についての意見・提案

②—2 地域の目指すべき将来像

大分県竹田市

- ・都市部では地方の道路不要論が唱えられているが、食料自給率の低いわが国においてこれを支えているのが地方である。
- ・昨今の中国食料品問題に端を発する食料の安心安全確保は地方にかかっているといっても良い。
- ・都市部は都市部の役割、地方の中山間地はその役割がある。そのことを都市部は認識すべきだ。
- ・中山間地の役割を若者が自信を持って担っていける里づくりを目指していきたい。
- ・そのためには確固とした都市と地方との連結が必要である。それが道路の役割と思う。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大分県竹田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安心安全の確保	いまだ存する救急車両の入らない道路	限界集落対策として生活道の整備が急務	
防人の発奮	竹田五ヶ瀬線、高森竹田線など県境をはさんだ道路改良	同じような地形的要素を備えた地域が連携することにより地位気力の向上に資する	
国民保護法に関して	避難場所、避難道路を指定し国サイドでの改良実施	受け入れ先の自覚が生じる	
高速道路網の整備	中九州自動車道	ネットワークが完成して効果発現	